

内閣総理大臣賞を受賞して

茨城県立真壁高等学校長 郡 司 十三生

「心に花を咲かせよう」を合い言葉に、本校では、生徒・保護者・地域の方々・教職員がみんなで協力して花と緑の学校・人・地域と環境づくりに取り組んでおります。

校内の花壇と4,000プランターに、サルビア・マリーゴールド・ペチュニア・ベコニア・インパチェンスなど約2万株の草花を栽培しました。4月5月は土づくり・種まき、6月は移植・定植、7月8月は暑さの中一致協力して施肥・除草・水かけ・花摘み・刈り込みと清々しい汗を流しました。地域の皆様方にも是非この活動を広く知っていただこうと一般公開もしました。また、歴史と文化の香り高い町並みを始め市役所・警察署・公民館等へもプランターを配置し、地域の人々からも感謝されております。

この度、これらの活動が反響を呼び、高く評価され、県の「平成18年度第34回花と緑の環境美化コンクール」において県知事賞、さらに、「2006年度第43回全国花いっぱいコンクール」においては内閣総理大臣賞を受賞いたしました。本校におきましては、この上もない喜びと大きな誇りでございます。生徒・保護者・教職員・地域の方々が一いつになって、お互いの信頼関係が深まり、「思いやり」と「触れあい」の心豊かな人間性を培うことができました。

生徒達には、これまでの活動や受賞を大きな励みとして、今後さらに大きく羽ばたいてほしいと思います。

御支援・御協力いただきました多くの皆様方に心から感謝とお礼を申し上げます。

どうもありがとうございました。

